

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010那第60号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月14日 17時30分ごろ	
発生場所	沖縄県うるま市屋慶名海峡 勝連埼灯台から真方位026° 1.1海里付近 （概位 北緯26° 18.8′ 東経127° 55.5′）	
事故等調査の経過	平成22年9月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	警備艇 なぎ、11トン 240-30362 沖縄、沖縄県警察本部（船舶所有者）、うるま警察署（使用者）	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	推進器翼端部曲損、推進器軸曲損、船尾船底擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、沖縄市泡瀬南方沖において、現場検査を終えた職員2人を乗せ、船首約0.5m、船尾約0.9mの喫水で、屋慶名海峡に向けて約7ノットの速力で手動操舵により北北西進中、船長が、同乗者との話に夢中になり、予定針路を外れたことに気付かず航行し、平成22年7月14日17時30分ごろ、敷地島南方の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、救助した漁船にえい航され金武湾屋慶名地区に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、勝連埼灯台北北東方沖を屋慶名海峡に向けて北北西進中、船長が、同乗者との話に夢中になり、船位の確認を適切に行わなかったことから、予定針路から外れたことに気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、勝連埼灯台北北東方沖を屋慶名海峡に向けて北北西進中、船長が、同乗者との話に夢中になり、船位の確認を適切に行わなかったため、予定針路を外れたことに気付かず、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	